

令和5年10月12日

美作市立勝田小学校
第6学年保護者 様

美作市立勝田小学校
校長 春名 章範

令和5年度 全国学力・学習状況調査 個票返却について(御連絡)

中秋の候、保護者の皆様におかれましては、平素より、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、令和5年5月27日(木)に実施いたしました6年生を対象とした全国学力・学習状況調査について、個人の結果をお返しします。この調査は、前学年までに学習した内容がどのくらい身に付いているかを確認、今後の学習に生かしていくためのものです。

本校といたしましても、この結果を踏まえ、子どもたちの学ぶ力を伸ばすための取組を推進して参ります。

結果分析の概要等につきましては、別紙(裏面)を御覧ください。

【国 語】

- 問題文の文章の種類とその特徴について理解しているかどうかを見る設問では、正答率が全国平均に比べ11.1ポイント、岡山県平均に比べ11.2ポイント上回っていました。また目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる設問（選択）で、正答率が全国平均・県平均を上回りました。
- 平均正答率は全国に比べ9.2ポイント、岡山県に比べ10ポイント低い結果でした。特に、記述式の設問のうち、図表やグラフを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書く設問や文章を読み理解したことに基づいて自分の考えを書く設問では全国平均を大きく下回り、無回答率も高い結果となりました。短い時間で文章全体を読み取ることが難しく、後半の設問に取り組めていない児童も見受けられました。

【算 数】

- 一の位が0の2桁×2桁についてのかけ算や（ ）を使ったたし算・かけ算の混合した式を場面と関連付けて読み取る設問では、正答率が全国平均・県平均よりもやや上回りました。
- 平均正答率は全国に比べ21.5ポイント、岡山県に比べ20ポイント低い結果でした。特に三角形や台形の性質について理解しているかどうかをみる設問の正答率が低く、図形の高さの捉え、公式の意味の理解が不十分であることが分かりました。また条件に沿って、言葉や数を用いて記述する設問では無回答率が高い結果となりました。

〈学習状況調査〉

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」、「友達関係に満足していますか」、国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」という設問に対し、児童全員が「あてはまる」という肯定的な回答をしていました（4段階評価）。また「学習の中でタブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか」という設問に対しても8割が「あてはまる」2割が「どちらかといえばあてはまる」という肯定的な回答をしていました。
- 「新聞を読んでいますか」の設問に「ほとんど、または全く読まない」と答えた児童が81.8%（全国73.3%）でした。また「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」の設問に対し、「全くしない」と答えた児童が18.2%でした。

*学校としての対応・目標

- ・学習内容の理解をより確実にするため、全教職員が一体となって、つまずきの大きかった単元や領域を重視し、児童が達成感を味わえる楽しくて分かりやすい授業づくりに取り組み、課題となっている学力の定着を図ります。
- ・全ての教育活動において、「自分の考えを書く・話す」活動を重視します。
- ・算数科では、問題文を絵や図に表して問題場면을掴むこと、図を使って自分の考えを説明すること、つまずきそうな活用問題に取り組んでいきます。
- ・朝の学習、放課後学習の時間に、基礎学力の向上を図る年間3回（1回：2週間）の計算ウィークの実施や「問題データベース」やタブレットドリルを使うなどして既習内容の復習に取り組むとともに、本を読む習慣、本等を通じて物事を調べる習慣がつくよう家庭との連携を大切にします。

以上のような学校の指導意図を御理解いただき、御家庭でも御協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。